

P8310777.JPG 2019/02/18
慶応四年七月七日より慶応四年七月十二日まで

P8310777right

井左□をして井を供はしむ、私に賀杯²を酌³くむ、素麵を喫す
八日未雨終日

須藤常来る札差方え懸合□儀による

九日申 雨午前止漸に晴

休左衛門来る、組合□□□時入用二方の儀□聞る□遣す、御手当扶持願の儀、日根野より
心附受²し候

旨に付願書認め為持遣す、三菩提寺□山望小川の中元品遣し方命遣す、休左並別当
中元品遣す、妻儀□児次郎を携へて浅草観音へ詣

十日酉 雲稍晴

番町よりの為²児来る、梨一籠持来、午餐等を設く

P8310777left

十一日戌 雲乍晴

太郎中元賀に□野内山え行き茶溪邸え廻る、富沢叔母平山常同道来り西瓜一□
乾魚一籠を贈られ小作証文並文月より当月迄利金二円二方持来、叔母より麦一苞分与せら
る

午餐を設け、且西洋画一枚乞に任せ猪口二を遣す、山本長梨一籠持来、□兩人酔食²
前常司頼にて叔母より金融談受し□の断り置、入夜須崎常来る、就眠後にて空敷帰りし旨
つた²より申聞る

十二日亥 晴

格²□え中元使遣す、福地源^{*}□来り金策の請あり程よく断る、午餐等を設く、須崎常、
入□来る捌²の咄し並²ならびに飯米²取入等の周旋受²(うけ²)し

*1:福地源一郎(桜痴)、旗本で明治のジャーナリストと思われる。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。